

最終改訂 令和7年4月1日		建築工事仕様書	
Ⅰ 工事概要		1 工事場所 輪島(市)郡 門前 町 清水 地内	
2 工事内容		(1)・本体工事 (種別 種別 構造 階 面積) ・既存防球ネット撤去(支柱3本共) 約100m ・防球ネット新設(支柱3本建込共) 約100m  (2)・屋外付帯工事  (3)・電気設備工事  (4)・給排水衛生設備工事  (5)・解体工事	
3 完成期日		令和 年 月 日 (概成工期 令和 年 月 日) (余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。)	
4 別契約関連工事		・屋外付帯工事 ・電気設備工事 ・暖房設備工事 ・換気設備工事 ・昇降機設備工事 ・浄化槽設備工事 ・植栽工事 ・給排水衛生設備工事 ・冷房設備工事 ・空調設備工事 ・電話設備工事 ・	
Ⅱ 建築工事仕様		1 共通仕様 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標仕」という。 )による。 2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は( / )図、機械設備工事は( / )図による。  2 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の(別図 ) は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。 5) 特記事項に記載の[ ] 内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標仕」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。 6) ☐印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。 該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。 8) 斜線で消去した章は適用しない。	
1 章 一般共通事項		項目	
① 適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ・建築構造設計基準の資料(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年通知)のうち第3章 ・営繕工事写真撮影要領(令和3年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部) ・営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年度版) ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年度版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・公共建築木造工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ・屋根瓦工事共通仕様書(石川県土木部営繕課監修 令和5年版) ・鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ・壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ・鉄骨構造標準図(石川県土木部営繕課監修) ・石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準(施設整備の手引き) ・石川県公共事業景観形成ガイドライン	9 完成図等	1) 完成図 完成図完成図は、A3版製本(※1部・2部・部)を提出する。(1.7.1~3)(表1.7.1) 2) 屋外付帯工事実測図 ※提出する(1部) ※提出しない 3) 保全に関する資料 ※提出する(1部) ※提出しない 保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」(一財)建築保全センター)に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。 別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。
② 工事実績情報の登録	※登録する(但し工事請負代金額500万円以上の工事。)	10 工事写真等の記録	1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(令和3年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 各区分の写真はA4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。 ※写真帳
③ 発生材の処理	1) 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。 また、処分の際には産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に引き渡す。 (1.3.11) イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・引渡しを要するもの ・引渡し場所 ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 ・有 ・無 ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照 3) 発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、下記による。 ・現場で再利用を図るもの ・再資源化を図るもの 4) 建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法第18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無 ○有 ・無	区分 分類 大きさ 撮影枚数 部数 着工前 ※カラー ・ ※100×148程度 ※ 景以上 ※ 1部 工事中 ※カラー ・ ※85×115程度 「営繕工事写真撮影要領」による ※ 1部 完成時 ※カラー ・ ※100×148程度 ※ 景以上 ※ 1部 ・アルバム 区分 分類 大きさ 撮影枚数 部数 完成時 ※カラー ・ ※127×178程度 ※ 景以上 ※ 1部 ・写真パネル 区分 分類 大きさ 仕様 部数 完成時 ※カラー ・ ※457×560程度 ※木製枠7㌢付き ※ 1部	
4 電気保安技術者	※ 適用する	責任施工	2) 完成写真の撮影 ・専門業者の撮影(撮影者を明記) ○専門業者以外の撮影 3) 原版の使用権を次の者に移譲する。 ※発注者 ・設計者 移譲を受けた者は、写真を撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。 撮影者が写真を使用する場合は、発注者・設計者の承諾を必要とする。 4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。
5 施工条件	・	工事報告書	工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。
⑥ 建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。(1.4.1)(1.4.2)(1.4.4) ①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿(最新年版)」(社)公共建築協会)によるほか、これらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。 ②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ)からへ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けるものとする。 イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ハ) 安定的な供給が可能であること。 ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。 ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。	11 責任施工 12 工事報告書	
設備工事との取合い		1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。 2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。 位置、大きさ、箇所数等 位置ノ大きさ 100mm 125mm 150mm 175mm 200mm 補強筋箇所数 梁 壁 床 3) 鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。 4) 軽鉄下地で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。 イ) 天井部分 箇所 ロ) 壁部分 箇所 設備関連工事との取合いは下記による。 他工事との取合い 建築工事 電気工事 機械工事 備考 機器の基礎、換気扇取付用枠 梁、床、壁貫通部の補強 梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠 外気取付方ラリ、床下水槽マンホール蓋 ステンレス流し台等 排気フード、レンジフードファン 取り付け枠(鋼製)とも 天井、壁、床、点検口、フロバンポンベ庫 下流し、足洗場の給水、排水、玄関の排水 小便器仕切板(陶器製)、タオル掛(下地共) 洗面所、手洗所等の鏡 ボイラーの煙突 実験台に付属する設備機器 実験台の配管等の接続 埋込み分電盤、端子盤等の壁補強 埋込み分電盤、端子盤等の型枠 天井、壁ボード類の下部補強 簡易間仕切り(内装バ 裃)内の位置ボックス及び配管の取付 屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤 屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎 配線ビッド及び蓋 照明器具幹線等の吊りボルト用インサート 身体障害者用の手すり 洗濯機用防水パン及びトラップ F F暖房機・クーラー等の配管用スリーブ 電話・テレビ等の配線用スリーブ クーラー取付ボルト用インサート ユニツパス本体・付属品(シャワー金具・手すり・鏡・照明) ユニツパス用換気扇 消火器 自防扉、電動ス、電動ルーパー、防火 設置の防犯設備、感知器 地下タンク室	
設計 G L		※図示 ・設計 G L = 現状 G L	
建築基準法に基づき指定する条件		・地区の区分に応じた風速 (V (m/sec)) 30 (県内全域) ・地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・多雪地域の指定 垂直積雪量	
工事現場の掲示板		工事現場には、下記掲示板を設置する。(記入例) (2.3.1) 90cm 工事名 工 期 自 年 月 日 ~ 至 年 月 日 発注者 輪島市教育委員会教育総務課 (監 修) 設 計 監 理 施 工 建 築 (業者名を記入する) 電 気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 暖 房 (業者名を記入する) この工事は、週休2日に取り組んでいます 60cm (75cm) (注意事項) ①(監 修)内は、監修を委託した場合。 ②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。 ③工事は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。	
総合評価時における技術提案		「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事中において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。	
施工の検査等		監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。 ※敷地状況確認及び縄張り ※ベンチマーク ※道方 ※根切り掘削完了時 ※主要構造部の配筋 ・型枠の組立て ・鉄骨原寸図 ※鉄骨ボルト締付け ※鉄骨建方 その他監督員等の指示するもの (1.5.5)	
施工の立会い等		請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。 ・コンクリートのスランプ確認及び打込み ・屋外タイル接着力試験 ・地盤改良部試験体採取 ○その他監督員等の指示するもの (1.5.7)	
中間検査		中間検査の実施 ※有 ・無 実施時期 ※解体工事完了時 ・	
公共事業労務費調査等に対する協力		・受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 2)	

27	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	3 章 土 工 事 特 記 事 項	6 章 コ ン ク リ ー ト 工 事 特 記 事 項	7 完全溶込み溶接部の試験	1) 現場溶接 ※全て (7.6.12) 2) 工場溶接 A O Q L ※4.0% ・2.5% 検査水準 ※第6水準 ・図示 (7.6.12)(表7.6.2~3) 検査の種類 試験 箇所 試験方法 ・超音波探傷試験 ※「構仕」7.6.12(イ)による ・図示 ・放射線試験 ・マクロ試験 (7.9.2~8) 種 別 所要性能及び適用構造区分 ・ラス張りモルタル塗り ・耐火材 吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・耐火塗料 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ※A種 ・B種 (7.10.3)(表7.10.1) 柱底部シモルタル工法 ※A種 ・B種 (7.10.3)(表7.10.2) 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.4)(表14.2.2) 亜鉛めっきの種類 材 料 適用部位 A種 最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト スカラップ ・改良型スカラップ ・ノンスカラップ (7.6.7) 溶接条件 1) 入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 2) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 鋼材の種類 溶接材料の規格 溶接材料の種類 入 熱 バス間温度 400N級炭素鋼 JIS Z 3312 YGW-11、YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18、YGW-19 30kJ/cm以下 450℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 450℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W YGA-50P YGW-11、YGW-15 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18、YGW-19 40kJ/cm以下 350℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 250℃以下 JIS Z 3313 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W YGA-50P YGW-18、YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 250℃以下 520N級炭素鋼 JIS Z 3312 YGW-11、YGW-15 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18、YGW-19 40kJ/cm以下 350℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 250℃以下 JIS Z 3313 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 400N級炭素鋼 JIS Z 3312 YGW-11、YGW-15 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18、YGW-19 40kJ/cm以下 350℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 250℃以下 JIS Z 3313 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 490N級炭素鋼 JIS Z 3312 YGW-18、YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 STKR、BCR及びBCPに 限る。 JIS Z 3313 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 250℃以下 仮組 ・行う ・行わない (7.3.10) 鎮止め塗装 耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う(※「構仕」18.3.2による) ・行わない (7.8.2)	
28	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。(法定外の労災保険を含む) 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。	1 埋戻し及び盛土 種別・A種 ※B種・C種・D種・建設汚泥から再生した処理土 ㊥ (3.2.3)(表3.2.1) なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。 2 建設発生土の処理 ・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5) ・構外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと) ・指定(想定)搬出先 受入場所: 受入時間帯: 時 分~ 時 分 仮置き等: 3 六価クロム溶出試験 (1)「六価クロム溶出試験」の対象工事の有無 ・有 ・無 (2)本工程が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の要領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値(0.05mg/l)以下であることを確認し、試験結果(計量証明書)を提出すること。 参照:「セメント及びセメント系固結材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」(国土交通省大臣官庁官庁営繕部建築課長ほか H13.4.20改正) 1)「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数 イ) 工 法 ・配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 ロ) 工 法 ・配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 2)タンクリーチング試験対象工種名及び検体 イ) 工 法 検体 ロ) 工 法 検体 4 山留め ・存置する ・存置しない	1 コンクリートの種類及び強度等 (6.2.1~2)(6.14.1) 普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ(cm) 施工箇所 ・18 ・15 ・18 ・無筋コンクリート適用箇所 ・21 ※18 ・ ・ ※18 ・ 軽量コンクリートの設計基準強度 (6.2.1~2)(6.10.1)(表6.10.1) 設計基準強度Fc(N/mm <sup>2</sup> ) 種 別 施工箇所 ・21 ・21 ・ 1種 ・2種 ・ ・ 2 寒中コンクリート マスコンクリート 無筋コンクリート 流動化コンクリート (6.11.1~6.15.4) 種 別 適用 箇所 備考 (適用期間) ・寒中コンクリート マスコンクリート ・高炉セメントB種 ㊥ ・中床熱ボルトランドセメント ・無筋コンクリート ・流動化コンクリート 3 レディーミクス トコンクリートの 類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 (6.2.1)(6.4.1~2)(表6.2.1) JISマーク表示認証製品を製造している工場で、かつ、コンクリート主任技士等が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)で製造したものとする。 4 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(マスコンクリートを除く) ・高炉セメントB種 ㊥ (6.3.1)(表6.3.1) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。 水 和 熱 7 d : 350J/g 以下 28 d : 400J/g 以下 5 骨材の品質 アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.4)(6.5.4) ※A ・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m3以下) 6 混和材料の種類 ※混和剤 ・混和材 (6.3.1~2) 7 構造体強度補正値 構造体強度補正値の決定に用いる「予想平均気温θ <sub>p</sub> 」は、気象庁金沢地方気象台発表の過去の平均値より決定する。 (6.3.2)(監理指針 表6.11.2) 8 型枠(せき板)の種類 1) 塗装の有無 ※無 ・有 2) 打放し仕上げの種類 (表6.2.4) 種 別 (表面の仕上り程度) 材 料 (せき板) 塗装 施工箇所 ・A種 厚さ12mmのJAS規格品による表面加工品又は同等と見なせる程度のもの ・有 ・無 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とする ・B種 厚さ12mmのJAS規格品によるB-C又は同等と見なせて、ほとんど損傷のないもの ・有 ・無 目違い、不陸等の極めて少ない良好な面とし、グライNDER掛け等により平滑に調整されたものとする ・C種 厚さ12mmのJAS規格品によるB-C又は同等と見なせて、使用上差支えない程度のもの ・有 ・無 打放しのままで、目違いばらいを行ったもの 9 コンクリートの打増し 仕上げその他の納まりによる打増しは下記による。 打増し(mm) ・ 施工箇所 外断熱取合い(図示) 10 断熱材兼用型枠 適用箇所及び品質等は19章9断熱材による (6.8.3) 11 コンクリート躯体の表面処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理 MCR工法又は15.3.4(3)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。 また、粗面の状態は、監督職員の承諾を受ける。 適用範囲は11章タイル工事 コンクリート素地面の処理による コンクリートの増打ち厚さ ※20mm	設計 輪 島 市 教 育 委 員 会 工事名 輪島市門前野球場防球ネット復旧工事 図面名 建築工事仕様書 その2 図面番号		
29	電子納品	※行う(「電子納品仕様書」による。) ・行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 名 称 営繕工事電子納品要領(令和3年版) 官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】(令和3年度版) 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にC D-R、D V D-R又はB R-Dで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うC A L S / E C電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	4 章 地 業 工 事 特 記 事 項 1 既製コンクリート杭地業 1) 種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (4.3.1)(4.3.3) 杭径(mm) 杭長(m)及びび種別 継手数 セット数 備考 試験杭 本 杭 イ) 杭頭の処理 ※切断しない (4.3.8) ロ) 先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.3) ハ) 杭の継手 ・アーク溶接 ・機械式継手 (4.3.6) 2) 施 工 法 (4.3.5) ・特定埋込杭工法(杭材料条件に適合するもの) 2 場所打ちコンクリート杭地業 コンクリートの種別、設計基準強度及びスランプ (4.5.4)(表4.5.1) ( ) 種かつ ( ) N/mm <sup>2</sup> 以上 スランプ ( ) イ) 鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4) ロ) 掘削工法 ・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水掘削) (4.5.5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) (4.5.6) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法(※安定液使用) (4.5.4) ハ) セメントの種類 ※高炉セメントB種 ㊥ (4.5.4) ニ) 孔壁測定 ・行う ( ) ・行わない (4.5.5) 3 砂利地業 ※再生クラッシュラン ㊥ ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3) 4 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.5)	5 章 鉄 筋 工 事 特 記 事 項 1 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号 呼び 名(mm) ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上 ・ 2 溶接金網 (5.2.2) 網目の形状、寸法等 鉄線の径又は呼び名(mm) 規 格 形状、寸法等(縦×横)(mm) ※100×100 ※6.0 JIS G 3551による 3 鉄筋の継手 (5.3.4) 呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接継手 ・重ね継手 ・機械式継手 ・溶接継手 4 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5) 1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。 2) 地害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 「構仕」表5.3.6の値に加える寸法(mm) 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ※10 ・20 ・25 5 帯筋 ※H形 ・S P形 (別図2.2) 6 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない (別図2.1) 7 壁開口部の補強 一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (別図4.3)(別表4.3~4) 耐震壁 ※図示 8 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (別図7.1)(別表7.1~3) 9 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.10)	7 章 鉄 骨 工 事 特 記 事 項 1 鉄骨の製作工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3) ※建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構により下記グレードとして国土交通省から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・Sグレード以上 ・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上 2 施工管理技術者 ※適用する (7.1.3~4)(7.6.2)(7.12.2) 3 鋼材 鋼材の材質 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1) 種類の記号 使 用 箇 所 規格等 ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による 4 普通ボルト ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.2.3)(7.3.2) 5 高力ボルト 1) ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~9) 2) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 3) すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等 ( ) 6 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.2.2)(7.3.2)(7.12.4) 2) 摩擦面の処理 ※ プラスト処理(表面粗度50μmR2以上) ・ リン酸塩処理 3) すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示		
30	騒音振動の防止	低騒音(㊥)、低振動型建設機械を使用する。			8	耐火被覆	
31	隣接建物又は工作物の調査	※行う ・行わない			9	アンカーボルトの保持及び埋込み工法	
32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がないか関係機関の協力を得て確認し、監督員に報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。			10	柱底部シモルタル工法	
33	ダンプトラック等による過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(昭和42年8月2日法律第131号。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。			11	溶融亜鉛めっき工法	
34	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。			12	スカラップ	
35	住宅瑕疵担保履行法に基づく責力確保措置	本建物の住宅瑕疵担保履行法に基づく責力確保措置は、本工程に含める。			13	溶接条件	
	2 章 仮 設 工 事 特 記 事 項						
1	監督職員事務所	※設ける ・設けない (2.3.1) イ) 監督職員事務所の規模(単位:㎡) 種別号 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 面積程度 10程度 20程度 35程度 65程度 100程度 ロ) 監督職員事務所に設ける備品等 ※保護帽 ※墜落制止用具 ※長靴 ※合羽 ※原図大及びA3縮小の設計図面製本各2部 ※机 ※椅子 ※懐中電灯 ・書棚 ・黒板 ・寒暖計 ・					
2	快適トイレ(快適トイレ実施要領に基づく)	・快適トイレを設置すること。 ※監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる。 快適トイレを設置した場合は設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。					
3	工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)					
4	工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)					
5	指定仮設	指定仮設の適用 ・仮囲い ・敷鉄板(※図示) 仮囲いは、下記により強風に対して倒壊、飛散しない堅固な構造とし、事前に施工図を提出して監督員の承諾を受けること。 イ) 材料 ・鋼板 ・亜鉛波形状鉄板 ハ) 塗装 ・する ・しない ・塗装品 ロ) 高さ ・1.8m ・2.0m ・3.0m ニ) 延長 m その他の指定仮設 ・ (種別、規格、仕様)					
6	工事用道路	工事用道路は、良好な維持管理を行い、使用後は受注者にて速やかに原形に復旧すること。					
7	足場	1) 足場の種類 ※枠組本足場(手すり先行足場) ・くさび緊結式足場(手すり先行足場) 足場を設ける場合は「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月発布)に規定する「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 2) 建枠・布枠の寸法等 建 枠 ・1200枠 ・900枠 ・600枠 布 枠 ・500布枠×2枚 ※500+240布枠 ・500布枠×1枚 3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット状養生シート又は養生シート(出入口等上部は必要に応じて防護棚を設ける。)					
8	危険物貯蔵所	シンナー等有機溶剤を使用する場合は、特に火災及び盗難について管理を徹底する。(2.3.2)					

8章コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事

項目特記事項

1建築用コンクリートブロック

(1) 種強コンクリートブロック造 (8.2.2)  
断面形状及び圧縮強さによる区分  
※空洞ブロックC(16)  
・空洞ブロックC(16)-W  
(8.3.2)  
2) コンクリートブロック帳壁及び塀  
※「標仕」表8.3.1及び下表による。  
適用箇所厚さ (mm)  
・外壁  
・間仕垣壁  
・地下二重壁  
・塀  
高さ2m以下・120  
2mを超える・150

2ALCパネル

(8.4.2～6)(表8.4.2～4)  
種類単位荷重 (N/m<sup>2</sup>)厚さ (mm)取付け工法種別等  
・外壁パネル・1180・1960・100・A種・B種  
※平パネル伸縮目地への耐火目地材の充填  
・意匠パネル・適用する  
・間仕切りパネル・80・100・C種・D種・E種  
※平パネル伸縮目地への耐火目地材の充填  
・適用する  
・屋根パネル・960・100  
※F種耐火性能・有り  
・床パネル・2350・3530・100・150  
(・1時間・2時間)  
外壁と間仕切り壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い目の目地幅  
※20・図示による

3押出成形セメント板 (ECP)

(8.5.2～5)(表8.5.1～2)  
施工箇所表面形状厚さ (mm)幅 (mm)凹凸部の充填工法耐火性能  
・外壁パネル※F・50・60・有・無・A種・B種  
・有 ( )  
・D・50・60・有・無・B種・無し  
・T・有・無・C種・無し  
・間仕切り壁パネル※F・有・無・B種・有 ( )  
・D・有・無・C種・無し  
・T・有・無・C種・無し  
製造所 JIS A 5441による

4外壁パネル工法

外壁パネルの取り付け工法  
パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

9章防水工事

項目特記事項

1アスファルト防水

1) 種別及び施工箇所 (9.2.2～3)(表9.2.3～9)  
種別施工箇所  
※AⅠ-2  
・A-2  
・D-2  
・BⅠ-2床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ  
・  
・  
(9.2.2)  
2) アスファルト※3種・4種  
(9.2.2)  
3) 断熱工法の断熱材厚さ (mm) ※25  
ただし、オゾン層破壊物質を含まないもの。  
(9.2.2)  
4) 立ち上り部の保護材  
乾式保護材  
・れんが※市販品れんが、又は市販品のれんが形コンクリートブロック（見え隠れ部分）  
乾式保護材の種類  
・押し出し成形セメント板（窯業系パネル）  
・金属覆合板  
製造所 JIS規格又は「評価名簿」による  
（約15×300  
・約26×600  
・約12×900

2改質アスファルトシート防水

種別及び施工箇所 (9.3.2～3)(表9.3.1～3)  
種別施工箇所  
・AS-T1  
・AS-T2  
・

3合成高分子系ルーフィングシート防水

1) 種別及び施工箇所 (9.4.2～3)(表9.4.1～2)  
種別厚さ (mm)施工箇所仕上げ塗料塗り使用分類  
・S-F1※1.2・有・無・非歩行  
・S-F2※2.0・有・無・軽歩行  
・S-M1※1.5・有・無・  
・S-M2※1.5・有・無・  
(9.4.4)  
2) PCコンクリート部材下地  
目地処理（接着工法）※図示  
入隅部の増張り（S-F1、SI-F1及びS-G1工法の場合）※行わない・行う（幅mm程度）

4塗膜防水

1) 種別及び施工箇所 (9.5.2～3)(表9.5.1～2)  
種別施工箇所備考  
・X-1  
・X-2  
・Y-1地下外壁防水  
・Y-2屋内防水  
2) 種別 X-1の脱気装置・設ける  
種類材料設置数量  
・平面部脱気型※製造所標準仕様  
・ステンレス製・アルミ製又はアルミ鋳物  
・製造所指定数量  
1箇所/約50㎡当たり  
・立上り部脱気型※製造所標準仕様  
・製造所指定数量  
・1箇所/約10m間隔

5シーリング

1) 下表以外は、「標仕」表9.7.1による。 (9.7.2)(表9.7.1)  
施工箇所シーリング材の種類（記号）  
2) 接着性試験 ※簡易接着性試験・引張接着性試験（施工部位） (9.7.5)  
防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。  
施工箇所種別保証年限備考  
・10年  
・10年  
・10年

6防水工事保証年限

防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。  
施工箇所種別保証年限備考  
・10年  
・10年  
・10年

10章石工事

項目特記事項

1天然石張り

(10.2.1)  
1) 石の品質  
(イ) 床用石材 ※2等品・1等品（施工箇所）  
(ロ) 壁及びその他の石材 ※1等品・2等品（施工箇所）  
(10.2.1)(表10.2.1～2)  
2) 石の種類・表面仕上げ  
施工箇所種類産地・名称厚さ (m)仕上げの種類  
2) テラゾ張り  
(10.2.1)  
1) 種石の種類 ※大理石  
(表10.2.2)  
2) 表面仕上げ ※本磨き  
3) 壁の石張り工法  
(10.2.2)(10.3.2～3)  
(10.5.2～3)(表10.2.4)  
1) 外壁石張り  
①工法  
・外壁湿式工法（※流し筋工法）  
・外壁乾式工法（・スライド方式・ロッキング方式）  
※外壁乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。  
②あと施工アンカー材質 ※ステンレス (SUS304)  
③石裏面処理※行う（・小口共）・行わない  
④裏打ち処理※行う・行わない  
⑤ドレンパイプ ※樹脂ネット製パイプ25～30φ（クロスメッシュ巻）  
・ステンレス (SUS304)  
2) 内壁石張り  
①工法  
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法）  
・乾式工法（・スライド方式・ロッキング方式）  
②あと施工アンカー材質 ※ステンレス (SUS304)  
③石裏面処理※行う（・小口共）・行わない  
④裏打ち処理※行う・行わない  
3) 床及び階段の石張り  
1) 床石張りの石裏面処理 ※行う・行わない (10.6.2)  
2) 階段石張りの表面の処理 ※行う・行わない (10.6.3)  
3) 屋内のワックス掛け ※行う・行わない (10.1.5)

11章タイル工事

項目特記事項

1セラミックタイル

1) タイルの種類 (11.2.2)(11.3.2)  
形状寸法再生材の吸水率による区分釉薬種役物色備考  
施工箇所 (mm)適用GⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅪⅫⅬⅭⅮⅯⅰⅱⅲⅴⅵⅶⅷⅸⅹⅺⅻⅼⅽⅾⅿⅿ

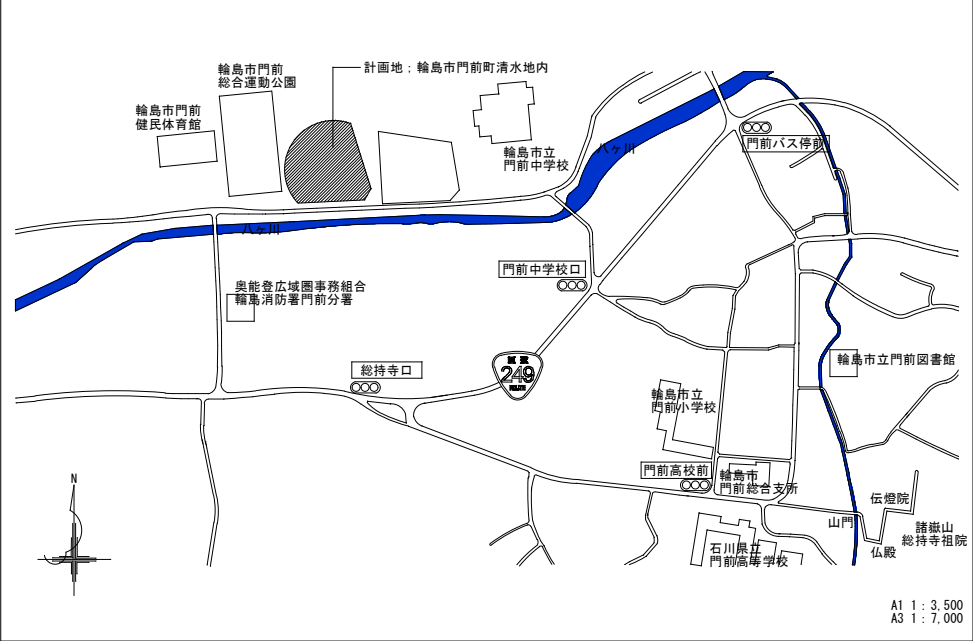
16 章 建 具 工 事					17 章 カーテンウォール工事					18 章 塗 装 工 事							
特 記 事 項					特 記 事 項					特 記 事 項							
1 見本の製作等	・特殊な建具の仮組等（建具番号： ）				1 外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/m <sup>2</sup>	(16.11.2)				1 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。						
2 防犯建物部品	※建具表による				2) 開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式	(16.11.2) (表16.11.1)				2 素地ごしらえ	木部の素地ごしらえ 不透明塗料塗り ※A種 ・B種 透明塗料塗り ・A種 ※B種						
3 アルミニウム製 建具	1) 外部に面する建具の性能値等 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)				3) 危害防止機構 ※危害防止装置	(16.11.2)				3 錆止め塗料塗り	鉄鋼面の素地ごしらえ 垂鉛めっき鋼面の素地ごしらえ モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ せつこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ 縦目処理工法の場合 その他の場合						
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所			4 合成樹脂調合ペ イント塗り (SOP)		塗料の種類別 ※1種 ・2種 鉄鋼面別 ・A種 ※B種						
	・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70 (注)共						5 クリヤラッカー 塗り (DL)	種 別 ・A種 ※B種					
	・B種	S-5	・	・				6 アクリル樹脂系非 水分散形塗料塗り (NAD)				種 別 ・A種 ※B種					
	・C種	S-6	・A-4	・W-5	・100							7 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面及び垂鉛めっき鋼面 等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面 種 別 ・A種 ・B種 ・C種				
	(注)引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの時は、100mmとする。												8 つや有合成樹脂 エポキシペイント 塗り (EP-G)	種 別 ・A種 ※B種			
2) 表面処理 (16.2.4) (表14.2.1)				3) スラット 厚さ (mm) ※0.5 ・0.8 (表16.12.2)				9 合成樹脂エポキシ ペイント塗り (EP)	種 別 ・A種 ※B種								
施工箇所				種 別	色合い等				10 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC)	種 別 ・A種 ※B種							
外部建具				※BⅡ-1種	無着色			11 木材保護着色色 塗料塗り (WP)		種 別 ・A種 ※B種							
・BⅡ-2種				※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）													
内部建具				※AC-1種又はBB-1種	無着色												
・AC-2種又はBB-2種				※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）													
4 樹脂製建具	3) 防音ドアセット ※適用は建具表による				4) ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304 (表16.12.2)												
	4) 断熱ドアセット ※適用は建具表による				厚さ ※1.0 ・1.5												
	5) 耐震ドアセット ※適用は建具表による																
	1) 外部に面する建具の性能値等 (16.3.2) (16.3.4) (表16.3.1)																
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所											
・A種	S-4	※W-4	・60 ・80														
・B種	S-5	・A-4	・W-5	・100													
・C種	S-6	S-6	・125														
5 網戸	2) 表面色 ※白色 ・（ ）																
	3) ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス (16.3.3)																
	防虫網																
	イ) 網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)																
	ロ) 形 式 ※外部可動式 ・固定式																
6 鋼製建具	1) 簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (表16.4.1)																
	※適用する（適用箇所は建具表による）																
	2) 外部に面する建具の耐風圧性 (16.4.2) (表16.2.1)																
	・S-4 ・S-5 ・S-6																
	※施工箇所は建具表による																
7 標準型鋼製建具	3) 鋼板類の厚さ（1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合） (16.4.4) (表16.4.2)																
	※下表以外は表16.4.2による。																
	区 分		使用箇所		厚さ (mm)												
	窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3													
	出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3													
戸 中枠				2.3													
8 鋼製軽量建具	・図示																
	1) 簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (16.4.6) (表16.4.1)																
	※適用する（適用箇所は建具表による）																
	2) 外部に面する建具の耐風圧性 (16.5.2)																
	・S-4 ・S-5 ・S-6																
9 標準型鋼製軽量 建具	※施工箇所は建具表による																
	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による (16.5.2) (16.5.6)																
	1) 簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (16.6.2) (表16.4.1)																
	※適用する（適用箇所は建具表による）																
	2) 外部に面する建具の耐風圧性 (16.6.4)																
10 ステンレス製建 具	・S-4 ・S-5 ・S-6																
	※施工箇所は建具表による																
	3) 表面仕上げ ※HL仕上げ ・No8鏡面仕上げ (16.6.4)																
	4) 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり） (16.6.5)																
	1) 建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (16.7.2) (表16.7.2) (表16.7.6)																
11 木製建具	※規制対象外 ・第三種																
	2) フラッシュ戸の表面材の種類 (16.7.2) (表16.7.2) (表16.7.6)																
	※難燃合板																
	3) かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）																
	4) ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子																
12 建具用金物	5) 枠及び靴ずりの材料 (16.8.4)																
	枠 ※木枠																
	靴ずり ※ステンレス ・木製																
	1) マスターキー ※製作する ・製作しない (16.8.4)																
	2) 建具用金物 (表16.8.1)																
13 自動ドア開閉装 置	金物の種類				製造所												
	シリンダー箱錠		シリンダー本締まり錠		「評価名簿」による												
	ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ																
	1) 自動ドアの開閉機構 (16.9.2～3) (表16.9.1～6)																
	開閉方法				検出装置の種類												
14 自閉式上吊り引 戸装置	※スライディングドア				※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ												
	・スイングドア				・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ												
	2) 凍結防止措置 ※行わない ・行う (16.9.3)																
	3) 製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。																
	製造所「評価名簿」による (16.10.2)																
					15 重量シャッター												
					16 軽量シャッター												
					17 オーバーヘッド ドア												
					18 ガラス												
					19 ガラス留め材及 び溝												
					20 ガラスブロック 積み												
					21 ガラス用フィル ム												



6	カーペット敷き G	防火性能は、消防法で定める防火性能を有し、登録されているものとする。 (19.3.1) ・織じゅうたん (表19.3.1)	種別	織り方	バイル形状	色柄等	帯電性	
		・A種 ・B種 ・C種	・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットバイル ・ループバイル ・カット、ループ併用	※単色（無地） ・柄物（標準色）	人体帯電圧 ※3kV以下 ・		
		・タフテッドカーペット (表19.3.2)	バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性		
7	合成樹脂張り床	(19.3.2～3) (表19.3.1)	種 別	バイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	帯電性	備考
		・強性ウレタン樹脂系塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ ※薄膜流し展べ工法（※平滑・防滑） ・厚膜流し展べ工法（※平滑・防滑） ・樹脂モルタル工法（※平滑・防滑）	※5～7 ※4～6 ※4	※全面接着工法 ・グリッパ工法	※6.5 ・	人体 耐電圧 3kV以下	・
		・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ					
8	床用塗料塗り	材質 ウレタン樹脂系塗料（※標準色・） 仕上種別 ※平滑仕上げ・防滑仕上げ 塗布量 プライマー塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする。	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
9	防塵用塗料塗り	材質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色・） 仕上種別 コーティング（ローラー刷毛塗り） 塗布量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
10	フローリング張り	(19.5.2～6) (表19.5.1～6)	品 名	樹 種	工 法	種 別	仕上塗装等	
		※天然木化粧 複合フローリング G	・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
11	畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)	下地の種類	畳の種類	畳の厚さ (mm)	畳の長さ (mm)	畳の幅 (mm)	
		「標準」表12.6.1による床組	A種 B種 C種 D種					
		ポリスチレンフォーム床下地	C種 ※D種					
12	ポリスチレンフォーム床下地材	畳下地 厚さ (mm) ※40 65 80 フローリング類下地 厚さ (mm) ※80 95	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
13	特殊合板等の種類	特殊合板の仕上りの種類などは、下記による。 (19.7.2)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
14	壁紙張り	(19.8.2)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
15	断熱材 G	断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 第三種 (表19.9.2) (表19.9.3)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
16	体育館のフローリング張り	体育館のフローリング張りは、下記による。 (イ) 材種 下張り（組太の場合）・1類ランウ合板（厚15）・構造用合板1類2級（厚15） 上張り ・かば様18mm (ロ) 工法 下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。 上張り材と他の材料との取合いは、ネオブレングムとし、コートラインは、上張り前に、監督員の指示により施工する。	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
17	浴室天井材	市販品	材 質	表面仕上げ	性 能	幅 (mm)	備 考	
		※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品 ※塗装品 ・木目調	※200 ・100 ※300 ・100	回り縁は覆付きとし、製造所の標準品とする。			
18	せっこうボード その他のボード 張り	(19.7.2) (表19.7.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
19	吸音材	(19.7.2) (表19.7.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
20	乾式耐火仕切壁	(19.2.2)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
21	誘導用及び注意喚起用床材	(19.2.2)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
22	収納家具・書架・物品棚	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
23	かざり箱	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
24	くつふきマット	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
25	流し台ユニット	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
26	屋内掲示板	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
27	洗面カウンター	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
28	防煙垂れ壁	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
29	敷地境界石標	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
30	旗竿	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
31	旗竿受金物	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
32	フェンス	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
33	屋外掲示板	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
34	車止め支柱	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
35	建築銘板	(19.2.2) (表19.2.1)	種 別	仕上りの種類	工 法	種 別	仕上塗装等	
			・なら ・ひのき ・能登ひば	※釘どめ工法（根太張工法） ・釘どめ工法（直張り工法） ・接着工法（直張用）	・A種 ・B種 ・C種	※塗装品 ・無塗装品 ・合成樹脂発泡シート		
21	床点検口	(20.2.5)	表面仕上げ材	脚部の形状・材質	ドアエッジの形状・材質	材質	寸法 (mm)	備考
			※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・支柱タイプ	・フラット形 ・曲面形	※アルミニウム製 ・ステンレス製	※600×600 ・	・
8	手すり	(20.2.6)	材料の種類	表面処理	材質	寸法 (mm)	備考	
			※ステンレスSUS304 ・鉄	※H L程度 垂鉛めつき	・鏡面程度 外部 ※C種 内部 ※E種	・	・	・
9	階段滑止め	(20.2.7)	材質	形状	幅 (mm)	約35	取付け工法	備考
			ステンレスSUS304 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド	※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し	・	・	・	・
10	階段手すり	(20.2.7)	材質	形状	幅 (mm)	約35	取付け工法	備考
			ステンレスSUS304 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド	※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し	・	・	・	・
11	黒板及びホワイトボード	(20.2.9)	種類	寸法 (mm)	備考			
			・黒板 ・焼付け	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	・	・	・	・
			・ホワイトボード ・ほうろう	※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	・	・	・	・
12	表示標識	(20.2.11)	衝突防止表示 ※図示 （市販品 ※ステンレス製 径 約30mm ・無し 法令に基づく表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。 製造所 監督職員の承諾する製造所	材質	形状	寸法 (mm)	備考	
				・	・	・	・	・
13	タラップ	(20.2.12)	材料の種類	表面処理	材質	寸法 (mm)	備考	
			※ステンレスSUS304 ・鉄	※研磨なし 垂鉛めつき	・鏡面程度 外部 ※C種 内部 ※E種	・	・	・
14	煙突用成形ライニング材	(20.2.13)	適用安全使用温度 ※400℃ 製造所 「評価名簿」による	材質	形状	寸法 (mm)	備考	
				・	・	・	・	・
15	ブラインド	(20.2.14)	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅 (mm)	備考	
			※横型 ・縦型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・1本操作コード ・2本操作コード	※アルミニウム合金製 ・アルミスラット ・クロススラット	※25 ・80 ・100	・	・
1								

36	リサイクル製品の使用	(1) リサイクル製品は、「石川エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用する。 石川エコ・リサイクル認定製品 ・使用する 使用箇所 製 品 備考 ・ ・ ・ ・ 「石川エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。 http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 生活環境部 資源循環推進課) (2) その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。 (3) 建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記掲示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。 <div><div>この建築工事ではリサイクル製品として ○○○○○○○○○.○○○○○○○○○ を使用しています。 <div><div>R</div><div>建設副産物リサイクル シンボルマーク</div></div></div><div>輪 島 市 教 育 委 員 会</div><div>(注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること</div></div> <div>37</div> <td>伝統産業工芸品の使用</td> <td>使用箇所 製 品 備考 ・ ・ ・</td>	伝統産業工芸品の使用	使用箇所 製 品 備考 ・ ・ ・
21 章 排 水 工 事 特 記 事 項 (21.2.1)(表21.2.1)				
1	排水管	排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1) 材 種 管の種類 管形状(接合方法) ※連心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管(※1種 ・2種) B形(ゴム接合) ・硬質ポリ塩化ビニル管 ※V P ・V U ・埋設管(埋設管)強化ビニル管 ※R S-V U		
2	排水樹及びふた	(21.2.1) 種 類 適用荷重 鍵 ・水封形 ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・T-2用 ・あり ・簡易気密形(パッキン式) ・T-6用 ・なし ・中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・T-20用 グレーチングふた (21.2.1) 材 質 形 式 種 類 適用荷重 形状・ピッチ 上面形状 ・鋼製 ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・ボルト固定(横断) ・溝ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ・ 溝ふた用(縦断) ・T-6用 ・細目 ・凹凸形 ・ 溝ふた用(縦断) ・T-14用 ・ かき上げ用 ・T-20用 ・ U字溝用		
3	埋戻し土	※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 G (21.2.1)		
22 章 舗 装 工 事 特 記 事 項 (22.2.3)(表3.2.1)				
1	盛土に用いる材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G (22.2.3)(表3.2.1)		
2	凍上抑制層の材料	※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン ・切り込み砂利 (22.2.3)		
3	路床	1) 路床安定処理 (22.2.2～3)(表22.2.1) ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 G ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m <sup>3</sup> (目標C B R ※5以上 ) ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ(mm) 0.5～1.0 引張り強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水計数 1.5×10 <sup>-6</sup> cm/sec以上 2) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22.2.2) 車道部 ※150mm ・( ) 歩道部 ※50mm ・( ) 3) 路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5) 4) 路床締固め度の試験 ※行う (22.2.5) 5) 砂の粒度試験 ※行う (22.2.5)		
4	路盤	1) 材料 G (22.3.3)(表22.3.1) ※再生クラッシャーラン(RC-40) ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ(CS-40) 2) 路盤の厚さ (22.3.2) 舗装の種類 路盤の厚さ(mm) 車道部 歩道部 アスファルト舗装 ・100 ・150 ・250 ・300 ・100 コンクリート舗装 ・150 ・100 カラー舗装 ・100 ・150 ・250 ・300 ・100 透水性アスファルト舗装 ・100 ・150 ・250 ・100 インターロッキングブロック舗装 ・100 ・150 ・250 ・100 3) 路盤の締固め度試験 ※行う (22.3.5)		
23 章 植 栽 工 事 特 記 事 項 (23.1.3)				
1	土壌の酸度、塩分量試験	※行う (23.1.3)		
2	樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 (23.2.2～3)(表23.2.1～2) 適 用 有効土層の厚さ(cm) 工 法 整備範囲 ※行う ・行わない ※20 ・ ※B種 ・ ※植栽範囲 ・ 図示 樹木 (23.2.2～3)(表23.2.1～2) 樹木の樹高(m) 有効土層の厚さ(cm) 工 法 整備範囲 ・2以上 ※100 ・ ※A種 ※葉張りの範囲 ・7以上～12未満 ※80 ・ ※B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3以上～7未満 ※60 ・ ※C種 ・ 図示 ・3未満 ※50 ・ ※D種 工法D種以外の工法で現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。		
3	植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土(※畑土 ・黒土) (23.2.3)		
4	土壌改良材 G	※適用する (23.2.3～4) 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 ・バークたい肥 有機物の含有量(乾物) : 70%以上 炭素窒素比(C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量(乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5～7.5 水分 : 65～65% 幼植物試験の結果 : 生育障害その他の異常が認められない 窒素全量(現物) : 0.5%以上 りん酸全量(現物) : 0.2%以上 カリ全量(現物) : 0.1%以上 ・発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下 有機物の含有量(乾物) : 35%以上 炭素窒素比(C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素全量(現物) : 0.8%以上 りん酸全量(現物) : 1.0%以上 アルカリ分(現物) : 15%以下		
5	支柱材	※丸太又は間伐材 G ・竹 (23.3.2)		
6	幹巻き用材料	※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2)		
7	芝張り	種類 ※こうり芝 ・野芝 (23.4.2)		
8	枯補償	※1年 ・ (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)		
9	吹付けは種	種子の種類 ※洋芝類又はクローバー(採取後2年以内) (23.4.2) 種子の量 ※発芽率80%以上		
10	屋上緑化 G	植栽基盤及び材料 (23.5.2～3) ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 保水・排水層 ・軽量骨材(層の厚さ: ) ・板状成型品 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等 ※ 図示 ・屋上緑化軽量システム (23.5.3) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示 (23.5.4) 固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を1.2.2(施工計画書)による品質計画で定める。 支柱 ・設置する(種類 ・ 図示) かん水装置 ・設置する(工事区分は図示による)		
24 章 そ の 他 特 記 事 項				
1	輪島市週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「輪島市週休2日工事」(以下、「週休2日工事」という。)の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、輪島市監理課HPの「輪島市週休2日工事実施要領」を参照すること。 (1) 当初設計において、月単位の週休2日(4週8休相当)にかかる補正係数を乗じている。 (2) 受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 (3) 受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得[計画]表を作成し、監督員に提出・共有すること。 (4) 受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得[計画]表を修正し、監督員に提出・共有すること。 (5) 受注者は、工期最終日までに、休日取得[実績]表を記入し、監督員に提出すること。 (6) 分発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場開所」とみなす。 (7) 発注者は、現場開所の達成状況を確認し、月単位の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、通期の週休2日(4週8休相当)の補正に減額するものとし、通期の週休2日(4週8休相当)に満たない場合は、補正分を減額するものとする なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。		
2	余裕期間制度 試行工事	1) 余裕期間制度対象工事の内容 (1) 本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領に基づき実施するものとする。 (2) 受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 (3) 受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 (4) 工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 (5) 受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 (6) 受注者は、着工日までの余裕期間内に工事(工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。)に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 (7) 受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任(監理)技術者の配置を要しない。 (8) 受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 (9) 余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 (10) その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度(フレックス方式)試行要領によるものとする。 (着工日の期限) 契約締結日から起算して〇ヶ月以内		
3	イメージアップ 看板	・設置する ・設置しない(別途工事で設置等) ※監督員へ提案・協議し、設置することができる(設置費は受注者負担とする)  【参考図】 野立型(大) H1400×W1100 野立型(小) H1400×W550 壁掛型 H750×W900 <div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなであつこう石川</div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなであつこう石川</div><div>未来への夢「石川をつくる」 みんなであつこう石川</div></div> (注) 看板のデザインは監督員に確認すること		

■付近見取図

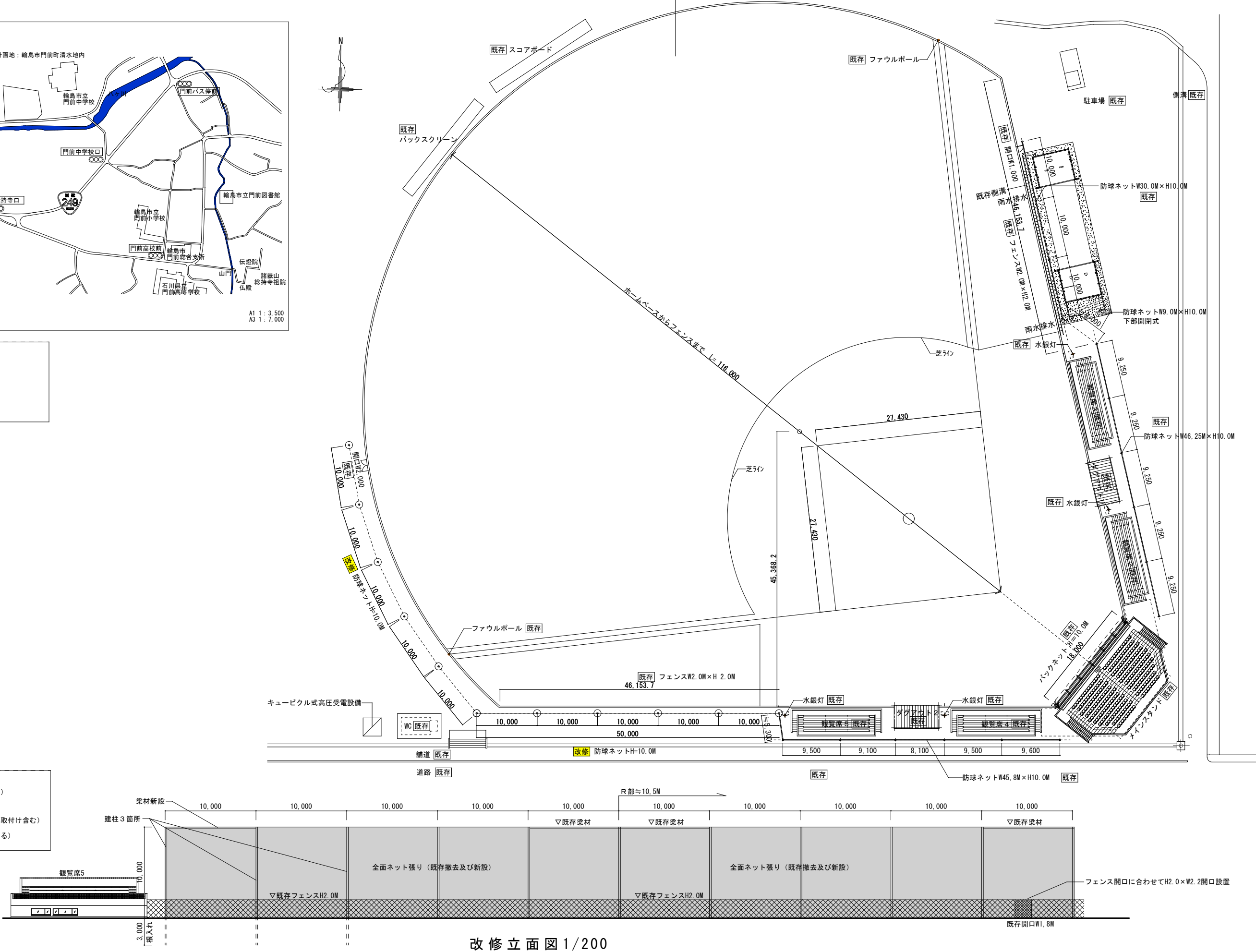


凡 例

既存 既存のまますを示す

改修 改修工事を示す

- 【復旧工事内容】
- ・既存のネット全面張替え（ワイヤー・金具類共）
  - ・支柱3箇所+梁材1本（撤去+新設）  
（建柱にあたり、既存フェンス取り外し及び再取付け含む）
  - ・カーテン式片開き設置（フェンス開口に合わせる）



改修立面図 1/200

輪島市教育総務課	・防球ネット：45mm目 φ1.15mm（イザナス・ツヌーガ同等品）	工事名	輪島市門前野球場防球ネット復旧工事	付近見取り図・配置図・工事概要	
----------	------------------------------------	-----	-------------------	-----------------	--